

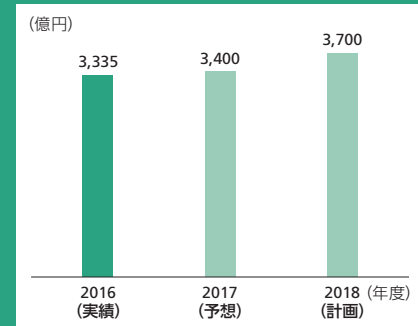
# 素形材カンパニー

## 中期経営計画の基本方針

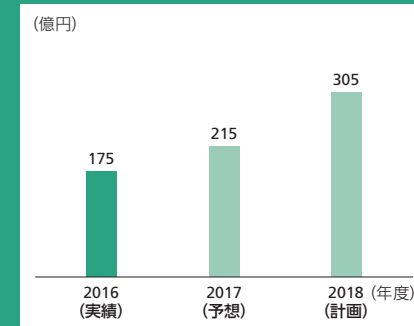
グローバル成長に向けたモノづくり  
基盤の強化で新たな価値の創造

## 定量目標に対する進捗

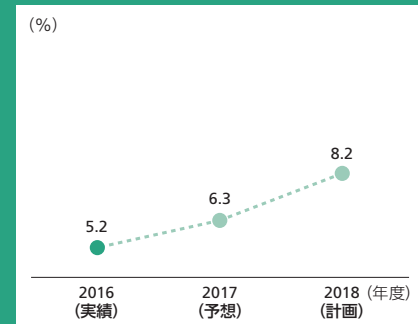
### 売上収益



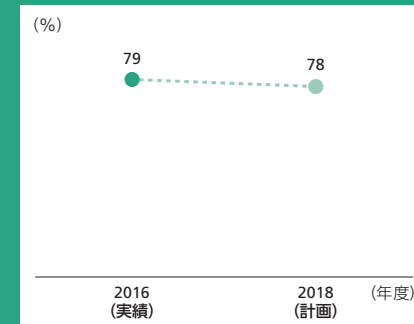
### 調整後営業利益



### 調整後営業利益率



### 海外売上比率



## 投資計画

投資額 600 億円 (2016年度～2018年度累計)

### 【鑄鉄製品】

- 北米 (Waupaca 社) ● 大型鑄物用水平割鑄造ライン ● ダクタイル鑄鉄/Gray Iron
- アジア (日本・韓国・インド) ● 高効率鑄造ライン技術グローバル展開

### 【耐熱鑄造部品】

- 日本 (九州工場) ● 新鑄造ライン ● 新コンセプト加工ライン
- 北米 (Waupaca 社) ● 新規加工ライン

### 【アルミ製品】

- 日本・北米 ● 高意匠/大型品対応 ● 生産性、効率向上

### 【配管機器】

- 日本・北米 ● フレキシブル配管システム能力増強
- 日本 ● 高効率生産ライン



素形材カンパニープレジデント  
長谷川 正人

## 中期経営計画に対する事業の進捗

### 鑄鉄製品

#### 主な進捗

高級ダクタイル鑄鉄分野では、お客様と密接なコミュニケーションをとりながら、当社が持つ軽量化のための設計力、材料技術および鑄造技術により、薄肉化、軽量化のニーズに対応しています。

汎用ダクタイル鑄鉄およびGray Iron分野は、Waupaca Foundry, Inc.が持つ高い生産技術力をもって合理化された生産ラインで、差別化した独自鑄造設備を生かし、高い競争力を発揮しています。

#### 今後の注力事項

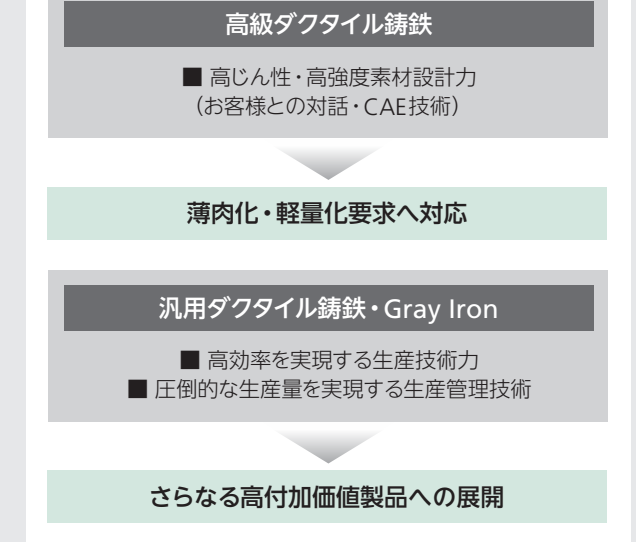
Waupaca Foundry, Inc.においては、ダクタイル鑄鉄とGray Ironの工場を再構成し、おのこの専用工場化を推進中であり、高効率化を進めています。さらに大型鑄造機導入を計画中で、商用車、建機、農機といったヘビーデューティー分野への対応力の強化を図るとともに事業領域を拡大し、高付加価値ニーズを捉えていきます。

さらに機械加工分野においては、既に開始している耐熱鑄造部品(ハーキュナイト®)の加工をはじめとする鑄鉄以外の材質への対応も進めて付加価値を高めていきます。

#### 需要拡大への対応

- 生産能力増強(80%増) 2016年度上期対比
- 新鑄造ライン 2016年10月稼働
- 新コンセプト機械加工ライン 2017年3月稼働
- 米州機械加工ライン整備 順次立上中

生産能力  
750トン/月  
(2016年度上期)  
↓  
1,350トン/月  
(2017年度)



### 耐熱鑄造部品(ハーキュナイト®)

#### 主な進捗

2017年から2021年の世界のガソリンターボ車の市場成長率は10%と予測され、今後も需要拡大が続きます。需要に対応するため、九州工場において新鑄造ラインを2016年10月に稼働させました。2017年3月には、新コンセプト機械加工ラインを稼働させ、加工効率の向上を図っています。さらに米州でも機械加工を開始しています。

#### 今後の注力事項

鑄造条件の最適化やIoTによる解析を活用した歩留まり向上と品質改善を図り、生産性を15%向上させ、営業利益率改善を図ります。

### アルミ製品

#### 主な進捗と今後の注力事項

xEVをはじめ環境性能に優れた自動車のためにアルミ機能品のニーズが急拡大しています。軽量薄肉化や複雑形状化、高い意匠性、高放熱性などの高度な市場ニーズに対し、当社の高精度CAE技術をはじめ、多様な鑄造法、さらにGRITとの連携による新複合素材や接合技術などの強みを生かし、xEV部品の開発に注力し事業規模を拡大する計画です。